



平成 30 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社マックハウス  
 代表者名 代表取締役社長 白土 孝  
 (コード番号 7603 東証 JASDAQ)  
 問合せ先 常務取締役管理統括本部長 杉浦功四郎  
 (TEL. 03-3316-1911)

当社の親会社 株式会社チヨダ  
 代表者名 代表取締役社長 舟橋浩司  
 (コード番号 8185 東証第 1 部)

特別損失 (減損損失) の計上及び繰延税金資産の取崩し  
 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 2 月期第 2 四半期決算におきまして、下記のとおり特別損失 (減損損失) の計上、繰延税金資産の取崩しとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 7 月 6 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

1. 平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,960	△150	△140	△400	△26 円 08 銭
今回修正予想 (B)	13,707	△202	△143	△785	△51 円 24 銭
増減額 (B - A)	△253	△52	△3	△385	—
増減率 (%)	△1.8	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	15,163	15	48	△103	△6 円 74 銭

(金額の単位：百万円)

2. 平成 31 年 2 月期通期業績予想の修正 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	30,230	220	260	△240	△15 円 65 銭
今回修正予想 (B)	29,360	220	260	△860	△56 円 07 銭
増減額 (B - A)	△870	0	0	△620	—
増減率 (%)	△2.9	0	0	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 30 年 2 月期通期)	30,852	216	264	△224	△14 円 61 銭

(金額の単位：百万円)

#### 修正の理由

当第2四半期累計期間における売上高は、低価格化戦略による客単価の低下、記録的な天候不順による客数の減少、NB（ナショナルブランド）商品の提案不足等により、既存店売上高前年比9.5%減と低調に推移し、前回発表予想を下回る見込みです。

商品調達改革を進めて粗利益率を改善し、第2四半期より広告宣伝費を中心とした販売費及び人件費の削減を実施したものの、売上減少をカバーするには至らず、営業利益、経常利益においても前回発表予想を下回る見込みです。尚、四半期純利益においては、収益性が悪化していると認識した店舗に関して減損損失として138百万円（内、第2四半期は104百万円）を計上、繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額354百万円（内、第2四半期は288百万円）を計上し、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

通期の業績予想につきましては、さらに売上高は減少すると予測されますが、大幅な経費削減を計画しており、営業利益、経常利益においては前回発表予想の水準を維持する見込みです。当期純損失につきましては、さらに収益性の悪化が見込まれる店舗を想定し860百万円としました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### ● 配当予想額について

平成31年2月期の配当予想額につきましては、現時点では平成30年4月11日公表の配当予想額（期末配当金 30円 年間配当金 30円）を変更いたしておりません。

以 上